

県外客呼び込みへ旅行会社と連携

観光客1人3千円 県が商品券補助



「おんせん県でつかえます券」対象は観光施設など県内約1万店

幅広い業種活性化狙う

県は旅行会社と連携し、今夏に県内で宿泊する観光客に1人3千円分の商品券を補助する事業を始めた。観光客の県内での消費を増やし、より広い業種への波及効果を促す。約20社が商品券を付けた県外発の旅行商品を開発、販売する。財源は国の地方創生交付金を利用する。

商品券の名称は「おんせん県でつかえます券」。1トを組み込む▽東九州自動車道の3枚つづり。旅行車道を活用できる▽などの会社各店での販売が5月から条件を設定した。旅行会社から順次始まっている。信販に、これまでにない県内観光事業のオアシス（大分市）光地を巡るルートの開発を加盟店の県内店舗でのみ使用できる仕組み。対象は観光施設、土産物店や飲食店、レンタカーなど県内約1万店。

7月1日～9月30日に県内。県は各店舗での商品券の活用情報を集めて分析。観光客の行動調査にも役立てていく。観光・地域振興課は「商品券の使用をきっかけに、さまざまな商品やサービスを利用して、各地を訪問して大分の多様な魅力を知ってもらいたい」としている。事業費は約1億円。

(2015年5月29日朝刊5面)

県は旅行会社と連携し、今夏に県内で宿泊する観光客に1人3千円分の商品券を補助する事業を始めました。

①商品券の目的は何でしょう。

.....

.....

.....

.....

③校区内の観光地を巡るコースを考えてみよう。観光名所でなくても、あなたの好きな場所やきれいな景色が見られる所など。

.....

.....

.....

.....

②あなたが観光客に勧める“大分らしい”商品券の使い道は何でしょう。